

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	001 秘書業務					
予算科目	01-020103-11 秘書業務に要する経費			担当部課	市長公室秘書課	
市長公約				係名	秘書係・渉外係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよ	

事業の概要

対象	特別職（市長及び副市長）
目的	特別職（市長及び副市長）の公務等を円滑かつ効率的に遂行する。
概要 （取組内容）	特別職が出席する会議や催事等日程について調整及び事前確認を行い、必要に応じて随行する。 全日程関連資料を特別職へ事前に共有する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	8,204	8,127	9,208	10,236	10,236	
	決算額	(千円)	5,595	5,375	6,882	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,595	5,375	6,882	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	18,586	18,665	22,284	22,284	22,284	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.50	2.50	3.00	3.00	3.00
		正職員時間外勤務	(時間)	646.00	650.00	758.00	758.00	758.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特別職への説明資料を2日前までに提出するよう全庁に依頼するとともに、特別職が出席する定例的な会議・催事等の対応フローを作成し全庁に周知することで、特別職の公務効率を高めた。	
成果	説明資料を前日までに特別職へ共有することで、会議において短時間で円滑な議論を行うことができた。	
課題	業務	担当課から至急の決裁依頼や報告調整は絶えず発生しており、このようなあらかじめ予定することが難しい案件が、特別職の執務時間（決裁など）や休憩時間の確保、スケジュールの過密化に影響している。
	組織、予算等	新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和により公務が増えており、公務が集中する時期は随行、事前調査や資料の準備等により、業務量が増加傾向にある。
改善目標	引き続き特別職への説明資料の早期提出を全庁に依頼するとともに、特別職が円滑かつ効率的に業務を遂行できるよう日常的に配慮する。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	002 市長車等特別職運転・管理業務					
予算科目	01-020103-11 秘書業務に要する経費				担当部課	市長公室秘書課
市長公約					係名	秘書係
戦略プラン					新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	16平和と公正をすべての人に
						17パートナーシップで目標を達成しよ

事業の概要

対象	特別職（市長及び副市長）
目的	特別職（市長及び副市長）のスケジュールの履行と安全な最適移動を行う。
概要 （取組内容）	市長車及び副市長車の運転・管理業務を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	207	326	57	61	61	
	決算額	(千円)	196	272	59	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	196	272	59	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,931	6,956	6,894	6,894	6,894	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	53.00	50.00	34.00	34.00	34.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	渋滞の発生する時間帯や地域への移動は、前もって道路状況確認の上時間に余裕を持って移動することとした。	
成果	特別職の公務スケジュールどおりに、安全かつ迅速に移動することができた。	
課題	業務	環境に配慮した水素自動車も公用車として配備しているが、燃料の水素を充填できる場所が1か所であり、また充填できる時間帯も限られていることから、水素自動車の使用は主に市内公務となっている。
	組織、予算等	公用車について、どの部品がいつ故障するか見通しが立たないため予算化できず、高額な修理が発生した場合の対応が課題である。
改善目標	引き続き、渋滞が発生する遠方への移動は、道路状況を確認の上、時間に余裕を持って移動する。公用車の修理等については、必要に応じて公用車整備担当部署の協力のもと行う。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	003 渉外業務（後援名義使用承認・叙勲・表彰事務）					
予算科目	01-020103-11 秘書業務に要する経費			担当部課	市長公室秘書課	
市長公約	9			係名	渉外係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	日本国憲法、茨城県表彰規則、つくば市名誉市民条例、つくば市表彰規則			SDGs	16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民等
目的	後援による市民への信頼性の確保と公共の福祉の向上を図る。 叙勲・表彰は、地方自治の発展や文化の向上等に功績顕著な個人・団体を讃える。
概要 (取組内容)	後援名義については、申請に対し審査の上、市以外が主催する事業において「つくば市」の名義使用を承認する。つくば市長賞については、申請に対し審査の上、賞状を交付する。 叙勲（叙位）については、地方自治に功労のあった公選職を対象に候補者を把握し、内申対象者が発生した場合は経歴・功績等を調査し、国・県に報告する。 社会の発展に著しい功績があり、市民の誇りとして等しく尊敬される者に対し、つくば市名誉市民の称号を贈り顕彰する。また、市民の生活と文化の向上に特に功績があったもの及び特に市民の模範となる行為があったものの事績をたたえ、功労表彰または善行表彰として表彰する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	157	270	466	708	708	
	決算額	(千円)	0	80	506	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	80	506	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	11,043	11,054	14,804	14,804	14,804	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	1.50	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	343.00	330.00	484.00	484.00	484.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	広報紙、ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	名誉市民候補者選定検討会議への市民委員の参画
実行	広報紙、ホームページでの情報発信
評価、検証	名誉市民候補者選定検討会議への市民委員の参画

指標の推移

1	指標名	後援名義使用承認件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	221.0	66.0	108.0	143.0	0.0	0.0
指標の概要	後援名義の使用申請があったものについて、使用を承認した件数						

2	指標名	名誉市民顕彰件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0
	指標の概要	つくば市名誉市民として選定し、顕彰した件数					
3	指標名	市表彰件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	124.0	0.0	0.0
	指標の概要	市政功労者として表彰した件数					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	後援名義については、申請事業が市の推進する事業に沿ったものか、聞き取りを行い詳細に確認した。また、新型コロナウイルス感染症の状況に合わせて、ガイドラインの改訂を行った。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 後援名義の申請件数は、新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和により、大幅に増加した。 長きにわたり地域に貢献してきた方々の事績をたたえ、市政の発展に資すること目的として、つくば市名誉市民候補者及び市政功労者を選定し、つくば市民の日に顕彰・表彰を行った。
課題	<p>業務</p> <p>名誉市民顕彰及び市政功労者表彰は、継続して行っていくに当たり、人数に応じた市民の日式典の内容、場所等について検討する必要がある。</p> <p>組織、予算等</p> <p>式典の規模に応じて他課の応援人数を検討する必要がある。</p>
改善目標	後援は、引き続き案件ごとに十分な審議を行いながら、受付後2週間以内を目安に承認の可否を決定する。後援名義使用承認ガイドラインを感染症の状況に合わせて改訂していく。名誉市民顕彰及び市政功労者表彰は、検討が十分にできるよう余裕を持ったスケジュールで事務を進める。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—